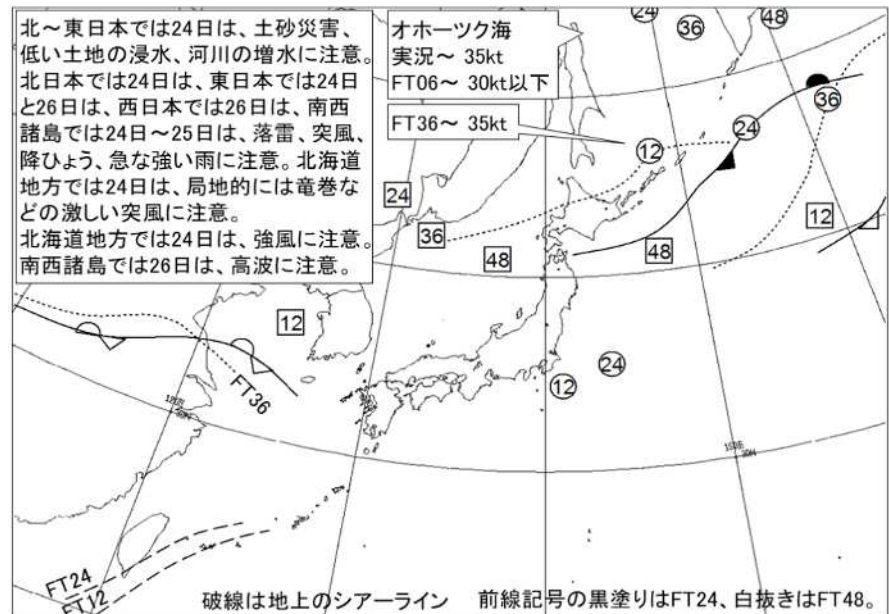


短期予報解説資料 2026年9月24日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① ルソン島から先島諸島近海には、850hPa θ e345K以上の下層暖湿気に対応した気圧の谷がのびて西進。先島諸島近海で雷を検知。非常に激しい雨を解析。
- ② 黄海と日本の東の2つの高気圧の間で東～北日本は気圧の谷となっており、850hPa θ e336K以上の下層暖湿気が流れ込み、日本海を東進する500hPa 5820m付近のトラフや伊豆諸島近海を北北東進する上層寒冷渦の影響で局所的には対流雲が発達して激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

- ③ 500hPa 5640m付近で-18℃の寒気を伴うトラフが中国東北区を南東進。対応して沿海州から宗谷海峡付近に前線がのびて東北東進。前線付近では雷を多数検知。宗谷海峡で激しい雨を解析。
- ④ フィリピンの東では、23日21時に台風第26号が発生して北西進している。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の気圧の谷は25日にかけて南西諸島近海を西進。下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となる。沖縄地方では24日～25日は、落雷、突風、急な強い雨に注意。
- ② 1項②の気圧の谷は、24日日中にかけて日本の東へ進む。下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、強い雨の降る所がある。東日本と東北地方では24日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。記録的な大雨で地盤が緩んでいる関東甲信地方では、少ない雨量でも土砂災害の危険度が高まりやすいことに留意。
- ③ 24日朝までには1項③の前線上に低気圧が発生。24日は前線が北海道地方を南下する。前線に沿って流入する下層暖湿気に上空寒気の影響が加わって大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨が降って大雨となる所がある。また、前線付近は風が強く吹く所がある。北海道地方では24日は、低い土地の浸水、河川の増水、強風、落雷、突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 500hPa 5820m付近の強風軸に対応して、25日朝には華北で前線が顕在化し、26日夜にかけて西日本太平洋側にのびる。また、25日から26日にかけて、高気圧が日本海から日本の東へ移動し、東日本には高気圧後面の湿った空気が流れ込む。前線に向かって流れ込む下層暖湿気や高気圧後面の湿った空気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。西～東日本では26日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ⑤ 1項④の台風は発達しながら26日夜には沖縄の南へ進む。南西諸島では26日は、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項〔量的予報等〕
- ①雨量(06時からの24時間):多い所(100mm以上)はない。
 - ②波浪(明日まで):高い所(3m以上)はない。

5. 全般気象解説情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。